



令和8年度
商品カタログ

東京
手仕事





東京手仕事とは

現代の消費者が求める伝統工芸品の新商品を創り出すとともに、国内はもとより世界に発信していく取り組みです。江戸職人の匠の技と心意気によって磨かれ、庶民に愛されて連綿と受け継がれてきた東京の伝統工芸品の優れた機能性を広く知っていただくべく、本プロジェクトでは、伝統工芸の技と現代の感性が融合した豊かなライフスタイルを提案していきます。

東京の伝統工芸品について

東京の伝統工芸品は、長い年月を経て東京の風土と歴史の中で生まれ、時代を越えて受け継がれた伝統的な技術・技法により作られています。伝統工芸品は、手作りの素朴な味わい、親しみやすさ、優れた機能性等が、大量生産される画一的な商品に比べて、私たちの生活に豊かさや潤いを与えてくれます。伝統工芸品は地域に根ざした地場産業として地域経済の発展に寄与するとともに、地域の文化を担う大きな役割を果たしています。現在、42品目が東京都の伝統工芸品として指定されています。

【指定制度について】

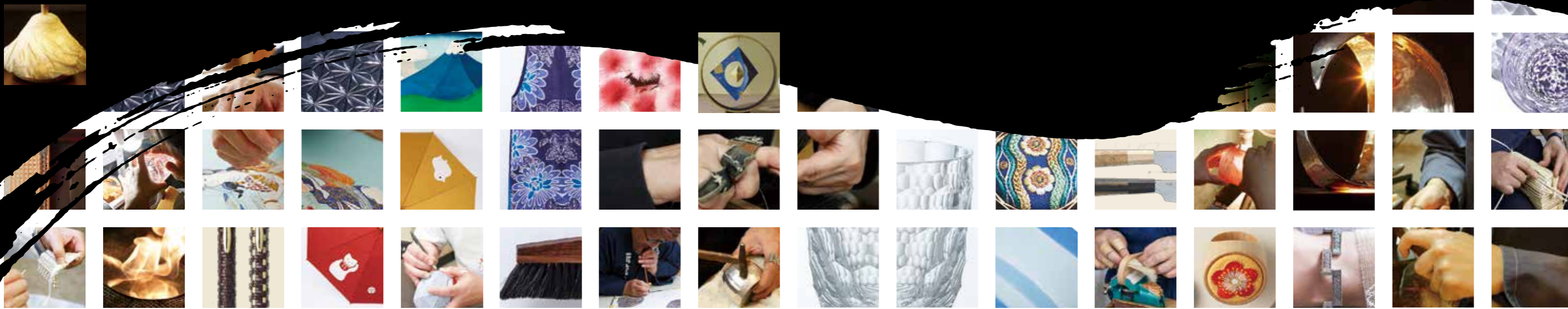
下記の要件を備える工芸品について、「東京都伝統工芸品産業振興協議会」の意見を聴いて、知事が東京都伝統工芸品に指定しています。

- 製造工程の主要部分が手工的であること。
- 伝統的に使用されてきた原材料により製造されるものであること。
- 伝統的な技術又は技法により製造されるものであること。
- 都内において一定の数の者がその製造を行っていること。

【東京の伝統工芸品42品目】

- | | | |
|------------|---------------------|------------|
| 1. 村山大島紬 | 16.江戸指物 | 30.江戸表具 |
| 2. 東京染小紋 | 17.江戸簾 | 31.東京三味線 |
| 3. 本場黄八丈 | 18.江戸更紗 | 32.江戸筆 |
| 4. 江戸木目込人形 | 19.東京本染
ゆかた・てぬぐい | 33.東京無地染 |
| 5. 東京銀器 | 20.江戸和竿 | 34.東京琴 |
| 6. 東京手描友禅 | 21.江戸衣裳着人形 | 35.江戸からかみ |
| 7. 多摩織 | 22.江戸切子 | 36.江戸木版画 |
| 8. 東京くみひも | 23.江戸押絵羽子板 | 37.東京七宝 |
| 9. 江戸漆器 | 24.江戸甲冑 | 38.東京手植ブラシ |
| 10. 江戸籠甲 | 25.東京籐工芸 | 39.江戸硝子 |
| 11. 江戸刷毛 | 26.江戸刺繍 | 40.江戸手描提灯 |
| 12. 東京仏壇 | 27.江戸木彫刻 | 41.東京洋傘 |
| 13. 江戸つまみ簪 | 28.東京彫金 | 42.東京手彫り印章 |
| 14. 東京額縁 | 29.東京打刃物 | |

※指定順
※東京手仕事では、区指定の伝統工芸品等も支援しています。



目次

- 04 **【特集】**
職人や伝統工芸をもっと知る
- 06 株式会社柿沼人形
NEW 木目込オブジェ 錦鯉
- 07 株式会社真多呂
NEW 木目込ポリゴンダルマ
- 08 有限会社武笠表具店
NEW 鏡屏(きょうびょう)
- 09 有限会社岡半
江戸人形盆栽「箱ノ松」
- 09 株式会社大越忠製作所
Busyo goma
- 10 三絃司きくおか
NEW shami lantern
- 11 株式会社富士製額
Tokyo Frame Vase

- 11 有限会社岩田仏壇製作所
INORIBI
- 12 有限会社湯島アート
NEW 日本の四季物語り
- 13 株式会社高橋工房
東京琳派 縁起富士
- 13 株式会社甲人
宝甲(たからよろい)
- 14 宗達アートクラフト株式会社
NEW GINOLUA(ジュノルア)
- 15 有限会社澤井織物工場
NEW LINESCAPE(ラインスケープ)
- 16 有限会社宮川刷毛ブラシ製作所
NEW IMPERIAL BROOM
- 17 株式会社宇野刷毛ブラシ製作所
ROKKAKU

- 17 株式会社I.S.U.house上柳
NOIR Lobby Stool
(ノアルロビースツール)
- 18 株式会社清水硝子
NEW 江戸切子 ロックグラス
「時巡り」
- 19 中金硝子総合株式会社
柘グラス 翠角彩 sui-kaku-sai
- 19 有限会社鍋谷ガラス工芸社
CHOCIN GLASS
- 20 廣田硝子株式会社
NEW たたえ
- 21 椎名切子(GLASS-LAB)
とぎだし-TOGIDASHI-
江戸紫
- 21 松井形紙店
染め型紙の敷飾り KiEN

- 22 八重打刃物製作所
NEW 江戸打ステーキナイフ
八澄(はずみ)
- 23 株式会社森銀器製作所
NEW タクミノリズム
- 24 木内籐材工業株式会社
NEW 籐筆(とうひつ)
- 25 ジュエリーサショウ
NEW 東京縁起刀
- 26 Team Embroidery Tokyo
NEW ひと糸
- 27 檜垣彫金工芸
NEW 手編みジュエリー-TANZAKU
- 28 ふじや染工房
NEW 染景 シルクスカーフ

- 29 高橋刺繍店
小間紋 komamon
- 29 ベッ甲イソガイ
neobekko
- 30 株式会社富田染工芸
NEW SARAKICHI KOMON POUCH
- 31 株式会社神山表具
屏風バッグ 折彩 -ORIIRO-
- 31 有限会社加瀬ラタン工芸
Ajiro Rattan Shoulder Bag
- 32 株式会社モンブラン
NEW Monpluie Amulette
(モンブリュイ アミュレット)
- 33 有限会社印傳矢部
印伝 × アルゴリズム

- 33 株式会社市原
虹霞 一朝霞・夕霞一
- 34 東京和晒株式会社
NEW 東京本染Gilet
- 35 一般社団法人染の里おちあい
モノトーン
更紗チュニックシャツ
- 35 有限会社村井染工場
東京本染め手拭い
UKIYO ZOME
- 36 **【特集】**
東京手仕事をもっと知る
- 37 **【特集】**
体験してもっと知る
- 38 事業者連絡先一覧
- 39 常設販売コーナー

※本カタログに掲載している情報は、2026年4月現在のものです。※商品は、手作りのため、サイズ、色、形は実際のものとは多少異なる場合があります。※表示価格は、消費税を含む総額の希望小売価格となります。※商品の仕様および「希望小売価格」は予告なく変更することがあります。

職人や伝統工芸品を

わたりつくる



江戸時代

江戸の町人文化から 花開いた職人技。

戦国の動乱が明け、天下泰平が訪れた江戸時代。江戸は、多くの人々が集住する文化・経済の中心地として隆盛を誇りました。現代のように職業が細分化されていなかった時代。江戸の人々は多くが「手に職」を持つ職人であり、専門分野別に同業の職人が集められ、大工町、塗師町、鍛冶町などの職人町が作られていました。社会の安定と商業の発達で生まれたゆとりを背景に、江戸っ子たちは娯楽を楽しみます。歌舞伎や浮世絵を鑑賞し、日用品にも庶民の生活から生まれた美意識である“粋”や“いなせ”を求めようになりました。自分の仕事に自信と誇りを持った職人たちは、互いに腕を



競い合い、指物や漆器、銀器など、数々の手工芸品を作り上げていきました。独自の町人文化を背景に、求められるモノを形にした職人たち。時を超えて今なお愛される匠の技と心意気、それは江戸時代に花開きました。



明治 昭和

存亡の危機を乗り越えて。

やがて時は明治、そして昭和へ。明治維新によって近代化へと舵を切った日本は、戦後の高度経済成長を経て急速な発展を成し遂げます。しかしそれは同時に、多くのモノが生まれてはたちまち消費される、大量生産時代の幕開けでもありました。手間と心を尽くした手仕事よりも、求められるのは利便さや効率。長きにわたり人間が手がけてきた仕事は機械化の波に押され、職人の数は減少の一途をたどります。そんな時代のうねりの中で存亡の危機にさらされた職人文化。しかし、日の目を見ない時も、伝統工芸の担い手としての誇りと江戸っ子ならではの反骨心を胸に、職人たちはその技と意匠を絶やすことなく、確実に次の世代へと受け継いでいったのです。



そもそも東京の職人たちはいつ誕生し、伝統工芸の発祥はどうなっているのか？その点を深掘りすると江戸時代まで遡ります。江戸～昭和、そして現代へ受け継がれてきた「職人と伝統工芸の歴史」をご紹介します。

そして現代

江戸時代が誇る手仕事を、 いま世界へ。

江戸時代から4世紀以上を経た今。コンテンツ産業やファッション、食や伝統工芸品をはじめとする日本の文化が、「クールジャパン」として世界から注目を集めています。国内外で価値が見直される江戸の“粋”を広く力強く発信すること。そのために誕生したプロジェクトが「東京手仕事」です。進取の精神に富んだ江戸っ子が、絶えず技術の革新に挑むことで磨かれてきた伝統工芸品は、伝統と現代が融合する都市・東京を体現する存在です。「喜ばれるモノを作りたい」という思いを胸に、素材を吟味し繊細な手仕事で、今日も逸品の数々が作り上げられています。人々の暮らしを潤し心を豊かにする東京の伝統工芸品は、これからも常に新たなステージへ歩み続けます。

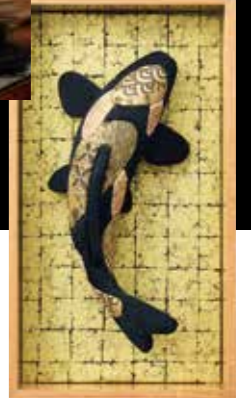


東京の粋は、進化する。

手を尽くす、手を砕く、手塩にかける。古来より伝わる数多の慣用語が示すように、私たち人間はいつの時代もその手に魂を注ぎ、絶えず新たなモノを生み出してきました。モノづくりの歴史、それはすなわち、人類が創造の可能性に挑み続けた歩みそのものなのかもしれません。歴史の1ページに名を

未来へ向けて

刻んできた伝統工芸品たちは新たなステージを目指します。時代を超えて受け継がれてきた東京のモノづくりを、世界の隅々にまで広げていく。やがて歴史を紡いだ先で、振り返った時に見える轍そのものが〈伝統〉になるのではないのでしょうか。その轍を作る誇り高き担い手が一人でもいる限り、東京の粋は進化を続けていきます。



室内を鮮やかに泳ぐ錦鯉。

和モダンなおブジェ、



江戸木目込人形

NEW

木目込オブジェ「錦鯉」

木目込技術とデジタル技術が融合、上質な素材感とこれまで表現することが難しかった躍動感のある、大人向けインテリアが誕生しました。本体に設けた溝へ、職人が布を一枚ずつ丁寧に挿し込み制作、華やかさと立体感を生み出しています。オブジェはフレーム・卓上の両展示が可能で、長寿・祝福・成長など、日常に彩りと前向きな気持ちを添えてくれます。錦鯉にはあえて「眼」をつけない事を選択、上品な仕上がりで完成しました。

木目込オブジェ 錦鯉

●アートフレーム
(W130×D72×H230mm、340g、
正絹、人絹、ポリエステル、
植物由来PLA(木粉配合) /
アルダー材、友禅和紙、真鍮)
各29,700円



●スタンド
(W88×D180×H85mm、110g、
正絹、人絹、ポリエステル、
植物由来PLA(木粉配合) /
アルダー材、真鍮)
各18,700円



【技術のこだわり】

木目込本来の柔らかな表現に対し、多面的でシャープな造形成立のため、溝の設計や彫りの精度を一から見直しました。面ごとに布の織り方向を細かく調整、特に稜線や角の処理は浮きや歪みが出ないよう高度な技術で対応しました。



柿沼利光

KAZUYA WASHIO DESIGN
鷲尾和哉

株式会社
柿沼人形

1950年創業。江戸木目込人形の節句人形を手がける工房です。螺鈿の象嵌、彩色二衣重(さいしきふたえかさね)など独自の技法を追求し、斬新な人形づくりを実践。



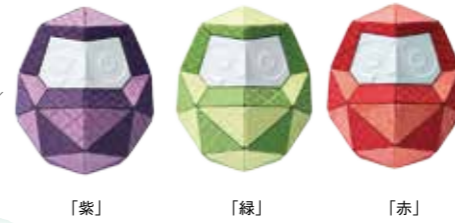
NEW

江戸木目込人形

木目込ポリゴンドルマ

江戸の縁起物であるだるまを、幾何学的なフォルムで再構築した「ポリゴン(多角形)だるま」。木目込の技法とデジタル技術が融合、伝統的な象徴性はそのままに、現代のライフスタイルに調和するデザインが完成しました。多面体構造によるシャープな造形は、光の当たり方によって豊かな表情を生み出し空間にアクセントを与えます。洗練されたフォルムへの進化により、インテリアとして主張しすぎない、だるまのやさしい佇まいが印象的です。

木目込ポリゴンドルマ
(W94×D97×H110mm、160g /
布、樹脂)
各19,800円



「紫」

「緑」

「赤」

株式会社
真多呂

真多呂では「木目込人形」の技を受け継ぎ、磨き上げられた伝統技法を現代に伝えています。数々の工程を重ね、職人の丹精こめた技から生まれる雅やかな品々は、伝統工芸品として高い評価を得ています。



【技術のこだわり】

胴体を従来の桐塑(とうそ)からレンジ樹脂へ変更。それに伴い精巧な平面を持つ造形と高い耐久性を両立させました。また、木目込の密度が高く直線的な部分が多いことから、より精緻で高度な木目込の技術を展開しました。



金林真一郎

株式会社torinoko
白鳥裕之・小山裕介・坂上立朗

現代のインテリアにも調和、
木目込のポリゴンドルマ。

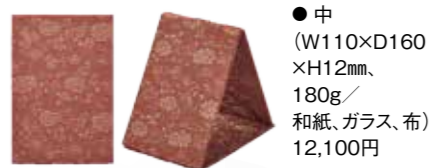


NEW

江戸表具 鏡屏 (きょうびょう)

江戸表具の伝統技術から生まれた、新しいスタイルの鏡です。金属製の蝶番を用いず、屏風の開閉機構である紙番(かみつがい)を応用し、軽やかに折りたためる機能性と美しい佇まいを両立。開けば自立する卓上鏡、折りたためば手鏡としてご使用いただけます。金属や樹脂を使わず和紙や裂地のみで仕上げた柔らかな風合いは、使うたびに空間や装いを上品に彩ります。日常にさりげなく工芸の美を取り入れることができる逸品です。

鏡屏



●中
(W110×D160
×H12mm、
180g/
和紙、ガラス、布)
12,100円



●小
(W70×D100
×H12mm、
75g/
和紙、ガラス、布)
8,800円

有限会社
武笠表具店

明治31年創業。武笠表具店は、四代に渡り継承される伝統的な表装技術を礎に、新しい技術&素材を積極的に取り入れている江戸表具の工房です。掛軸・額・屏風などを手がけ、現代の暮らしに調和する工芸品を提案しています。



【技術のこだわり】

屏風に用いられる紙番構造を応用し、繰り返し開閉に耐える強度と軽量性を両立させました。また、下張りと呼ばれる江戸表具の技法によって、複数の紙を丁寧に張り重ね、反りや歪みを抑えた安定した形を実現しました。



武笠敦史



YU NOMURA DESIGN
野村悠

所作を美しく引き立てる、
360°開閉・折りたたみ式ミラー。

江戸木目込人形(造花) 江戸人形盆栽「箱ノ松」



現代に蘇った吉祥のインテリア
高砂の松

古くより、祝いの品として愛でられ、贈られてきた高砂(たかさご)人形。「箱ノ松」は、人形の脇役として活躍してきた「高砂(たかさご)の松」を主役に据えた独創的な江戸人形盆栽です。桐箱を開けると、匠の技が生み出す精緻(せいち)な松が現れ、幾世代にわたり受け継がれてきた人形造花ならではの世界観が広がります。日々の暮らしに癒しと、和の美しさを宿し、現代の高砂人形として空間へ彩りを添えてくれます。



江戸人形盆栽「箱ノ松」

- 大(常盤松、雪松、桜松、W304×D124×H182mm/
紙、レーヨン、染料、他)各26,400円
- 小(常盤松、雪松、桜松、W166×D124×H182mm/
紙、レーヨン、染料、他)各15,400円

有限会社 岡半

創業100年超、さりげなく良いものを。「和」の伝統を演出する脇役として細部にわたり丁寧に、造花に込めた職人により全て手作業で製作しており、伝統工芸の磨き抜かれた技が存在感を放っています。



江戸甲冑 Busyo goma

厄や災いを払うお守りとされる五月人形と、まっすぐに芯が通って回り続けることから「物事が円滑に回る」の意味合いを持つコマをひとつにし、「健康で幸せに人生が回る」ための縁起物として製作しています。各武将の甲冑や名称をコマに反映、甲冑本体を構成する「こざね」「おどし」、色鮮やかな「生地」や「組ひも」を凝縮し、コマの装飾としてこだわって表現しました。



Busyo goma
(伊達政宗公、徳川家康公、真田幸村公/
W70×D70×H80mm/木材、アルミ、レーヨン)
各22,000円

株式会社 大越忠製作所

創業から五十余年、初代からの伝統を受け継ぎ永年にわたり甲冑づくりひとすじ。再現する甲冑は武器に留まることなく、金工、漆工、染織皮革などを駆使し、日本人の心を磨かれた技術で表現。総合工芸品として心を込めた手仕事で製作しています。



お洒落なシェードランプ。
三味線の生皮を活用した、



東京三味線

NEW shami lantern (シャミランタン)

三味線の「皮を張る」伝統技法から生まれたshami lantern。音を伝えるための膜として使われてきた生皮を光を透過膜へと置きかえ、皮の異なる厚みや透明感をやさしい光の表情として活かしました。山型のフォルムは、皮の成形技術と職人の手によるシワ作りによって生まれます。糸巻きを回して光量を調節する操作は、三味線の音程を調整する感覚そのもの。伝統素材(生皮)に新たな命を吹き込み、三味線・文化継承の明かりを灯す商品です。

shami lantern

- A. レッドオーク × 無地
(約径165×H155mm、300g/生皮、木)45,100円
- B. 縞黒檀 × 無地
(約径165×H155mm、300g/生皮、木)50,600円
- C. 縞黒檀 × 緑
(約径165×H155mm、300g/生皮、木)50,600円



三絃司
きくおか

三絃司きくおかは、葛飾区を拠点に東京三味線の製作・修理を手がける工房です。受け継がれた伝統的な皮張り・木工技術を守り続けながら、三味線需要の低下という課題とも向き合い、素材や技法の新たな継承の形を追求しています。



【技術のこだわり】

濡らした生皮を木型に押し当て成形するシェードの製法は、三味線の皮張りと同じ技法です。光の陰影と揺らぎを生み出すシワ作りの工程は、職人が皮を手で折り、揉みを加えながら乾燥させる、職人の感性と手仕事によるものです。



西村拓巳



合同会社0000
宮田茂弥

東京額縁

Tokyo Frame Vase



暮らしに溶け込む 東京額縁の一輪挿し

額縁の角を切り取ったデザインの一輪挿しは、天然木から削り出し、蜜蝋で磨き上げて仕上げた「和額縁」2種と、装飾に金箔を施し、敢えて古く見えるように仕上げた「洋額縁」合わせて3商品のラインナップ。洋額縁の製作過程にも、飾り部分に和菓子の木型職人が作った額縁用の木型を用いるなど、日本の技術で生産性を高める工夫が。それら全てが「東京額縁」の職人技として集約されています。

- Tokyo Frame Vase
(約W130×D37×H178mm/
ウォルナット(胡桃)、メープル(楓))
各18,700円
- Tokyo Frame Vase gold
(約W130×D37×H178mm/
ポプラ(西洋箱柳))
22,000円



株式会社 富士製額

1947年(昭和22年)創業。東京都指定の伝統工芸品として「東京額縁」を製作する、希少な額縁工房。100年以上昔からの伝統技術を今も引き継ぎながら、経年するにつれどんどん美しくなる額縁を製作しています。



東京仏壇

INORIBI

日常に溶け込む仏壇 灯りとなり

祈りの場でありながら照明としての役割も果たす、この二面性が新しい魅力の「INORIBI」。格子扉から柔らかく溢れる光が日常に溶け込むことで、祈りの対象と繋がっていることを感じさせてくれます。扉を閉じる際は仏具などを全て収納することでよりインテリアと調和し、奥行きは185mmとコンパクト。一般的なサイズのお位牌を祀ることができ機能性も重視しています。

- INORIBI
(閉扉時:W201×D185×H396mm
開扉時:約W411~482×D185×H396mm/
紫檀・樺/
電源:AC100-240V、
50/60Hz)
330,000円
※おりん、香立て、位牌は
付属しておりません。



有限会社 岩田仏壇製作所

東京仏壇は江戸中期から歴史が始まり、黒檀・紫檀・桑・屋久杉などの唐木や銘木で作る、木材の美しさを活かした簡素で丈夫な造りが特長の仏壇です。岩田仏壇製作所は、江戸時代から伝わる伝統技法を受け継ぎ、大型の仏壇から現代的な小型の仏壇まで丁寧に作っています。





純金銀・砂子を活かした、
インテリアモバイル。

からかみ

NEW

日本の四季物語り

平安時代から受け継がれる金銀箔・砂子の加飾技法を、現代のモダンアートへと昇華させた卓上モバイル「日本の四季物語り」。春夏秋冬をテーマにした4作品で構成され、それぞれの季節の情景が宿ります。微かな空気の流れで静かに旋回し、純金銀箔が光を反射しながら、異なる表情をみせる煌めきは見飽きることがありません。日本の四季と和の品格、同じ柄がふたつと生まれない唯一無二の輝きをお手元で飾ってみませんか。

日本の四季物語り

●スクエア型
(W210×D50×H300mm、220g/からかみ、
純金銀箔砂子、七色彩箔、ポリエステル、
木棒、MDF)各33,000円



花曇「春」



錦秋「秋」



涼夜「夏」



幻冬「冬」

●サークル型
(W260×D50×H275mm、190g/からかみ、
純金銀箔砂子、七色彩箔、ポリエステル、
紙管、木材)各33,000円



【技術のこだわり】

砂子技法の核心は、にかわを塗った和紙の上に筒から金銀箔を振りまいて定着させる工程にあり、同じ柄はふたつと生まれません。四季の表現を豊かにするために、唐紙の技法(墨流しなど)も融合し、切り箔や空写しなど伝統技術を駆使しました。



一色清



松尾慎
松尾慎デザイン室

有限会社
湯島アート

湯島アートは、からかみの伝統技法を現代に伝える工房です。純金銀箔・砂子加飾の技を守り続けながら、襖や屏風といった従来の用途を超え、現代の暮らしと空間に映える新たな工芸の形を追求し続けています。



江戸木版画 東京琳派 縁起富士



現代の富士
江戸の技法で描く

日本のシンボル・富士山の四季折々の姿を、琳派の系譜を受け継いだモダンなデザインで表現した木版画5枚セットです。伝統の江戸木版画は絵師、彫師、摺師の分業で製作されており、今回は絵師として迎えたデザイナーの意向を摺師の技で表現。気分や季節に合わせてオリジナル額に飾り身近にお楽しみいただけます。



江戸木版画 東京琳派 縁起富士
(木版画:W230×H168mm、額:W274×D7×H212mm/紙)
47,300円

株式会社 高橋工房

創業160余年、最も歴史ある浮世絵木版画工房です。木版の「摺師」の家系で、現在は版元としても作品を製作。江戸から変わらぬ素材、技法を用いて現代に当時の木版画作品を蘇らせているだけでなく、様々な現代アートとのコラボにも挑戦しています。



甲冑 宝甲 (たからよろい)

暮らしを彩る甲冑インテリア収納
飾る、しまう

平安・鎌倉時代の甲冑に見られる装飾「威(おどし)」を、武士の美意識として現代デザインに昇華し表現、ツマミには甲冑に用いられる金具「菊座」を採用しました。工芸品としての佇まい、インテリアとしての美しさ、普段使いの実用性を職人の高度な技術で実現。引き出し正面の鮮やかな組紐の配色には、縁起を担ぐ願いが込められており、繁栄と招福への思いが表されています。

A.宝甲 襷取
(2×2段/W160×D160×H160mm/
絹、人絹(レーヨン)、アルミ、桐)
60,500円

B.宝甲 黄昏
(3×3段/W232×D160×H232mm/
絹、人絹(レーヨン)、アルミ、桐)
132,000円



株式会社 甲人

創業は1897年(明治30年)、120余年の歴史を重ねる甲冑工房です。女流甲冑師が、平安・鎌倉期の国宝甲冑に見られる美意識に学び、武具として培われた緻密な技法をもって、一点一点丁寧に制作しています。節句飾りにとどまらず、美術工芸品として、歴史の美と品格を今に伝える作品として高く評価されています。



リビングなど室内を癒す、
月灯りのような純銀の輝き。



東京銀器

NEW GINOLUA (ジュノルア)

「月」をテーマに、照明オブジェやマルチトレイなどを鍛金技法で制作。純金の輝きが月灯りのように心を癒す、やさしくモダンなデザインが誕生しました。純度99.9%の「silver999」は銅などの割金がほとんど入っていない分、金属アレルギーが出にくく、また変色しにくいためとても美しい光沢に仕上がります。錆目がつくる銀の揺らぎと輝きは、大胆でありながら上質。手仕事ならではの、美しさと実用性が両立する品として未長くご愛用頂けます。

GINOLUA



月オブジェ
(W60×D60×H60mm、
50g/シルバー-999)
82,390円



月トレイ
(W50×D115×H20mm、
30g/シルバー-999)
42,900円



月うさぎ
(W10×D10×H15mm、
4g/シルバー-999)
11,550円

宗達アートクラフト
株式会社

宗達アートクラフトは、自然素材の魅力と手仕事の技を活かし、日常に寄り添う工芸品を制作する工房です。伝統技術を基盤としつつ、現代の暮らしに調和するデザインを実践。使うほどに味わいが深まるものづくりを大切にしています。



【技術のこだわり】

シルバー-999は、柔らかい素材のため加工には高い技術が必要です。そこで、刀の鍛銀技法を使って密度を増やし、シルバー-999の光沢感と独自のゆらぎの表現を追求。さらに縁にはいけこみの技法を用いて、更なる重厚感と輝きを持たせました。



上川宗達



ミチヒロ ハヤシ デザイン
林倫弘

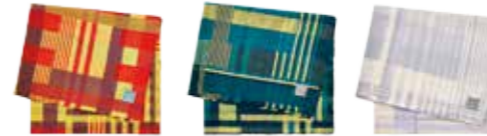
多摩織

NEW LINESCAPE (ラインスケープ)

襖や障子、畳など、直線が空間を彩る日本の美意識に着想を得たブランケット「LINESCAPE」。「線による風景」を意味するその名の通り、ストライプが平面に奥行きと広がりをもたらします。多摩織の伝統技法「変り綴れ織」を用い、贅沢に織り上げた一枚は柔らかな肌触りと快適な使い心地。一枚の布でありながら線の重なりと織りの構造によって表裏で異なる「線による風景」が現れる意匠が最大の特徴です。

LINESCAPE

●ブランケット
(約W110×L180+房各2cm、
毛80%、絹14%、アルパカ4%、
ナイロン2%)各69,300円



●ハーフケット
(約W110×L90+房各2cm、
毛80%、絹14%、アルパカ4%、
ナイロン2%)各34,100円



[HANA]

[KOKE]

[MOKU]

有限会社
澤井織物工場

澤井織物工場は、八王子を拠点に多摩織の伝統を継承する織元です。変わり綴れ織など高度な技法を用い、素材の特性を活かした織物を制作。伝統を礎に、現代の暮らしに調和するテキスタイルを提案しています。



【技術のこだわり】

表面に緯糸、裏面に経糸が現れる「変り綴れ織」の技法を応用し経糸が見える面と緯糸が見える面を交互に配置しています。経糸を高密度の細糸、緯糸を太糸とし、密度と糸の太さの最適化が要でした。一枚織でありながら、表裏で明確に異なる柄を実現した高度な技術が形になりました。



澤井伸



HANA
TEXTILE DESIGN STUDIO
光井花

表裏一体のモダンな美、
体と空間を包むブランケット。





ブラシを作る技術を活かし、
馬毛で仕立てた手植え箒。

東京手植ブラシ

NEW

IMPERIAL BROOM

今では希少な植毛穴加工の壺錐(つばきり)技術を継承する、宮川刷毛ブラシ製作所。その壺錐と独自の植毛手法、さらに上質な馬毛とウォルナット材使用による高品質な箒が誕生しました。箒のデザインは、しなやかな馬の足を思わせるフォルムで凛とした佇まい。密度の高い馬毛はその柔らかさと弾力で細かな塵や絨毯の隙間を拭き取り、床のホコリやごみもキャッチします。家具や床を傷つけず静音性も高いため、上質で丁寧な暮らしにフィットする逸品です。

IMPERIAL BROOM 長箒
(W300×D40×H880mm、260g/馬毛、ウォルナット、真鍮、ステンレス線、本革)
31,900円

有限会社
宮川刷毛ブラシ
製作所

大正10年創業。宮川刷毛ブラシは、匠の技を受け継ぎ日本の伝統文化を守る、刷毛とブラシを扱う店舗です。定番の豚毛ブラシをはじめ、素材と技法にこだわった手植えブラシには愛好家が多く、これぞ職人技といえる品々が揃っています。



【技術のこだわり】

植える角度に合わせた木地作り、毛束の量の調整、など。手植え工程は全て職人による手作業。出来上がった箒は、独自の形状と柄の角度により狭い場所でもスムーズに掃けます。ソフトな掃き心地は、独自の技術により毛束を高密度に植えることで実現。



宮川久美子



toshiyuki kawada design
川田敏之

東京手植ブラシ

ROKKAKU

伝統に新たな息吹を込めたデザインの手植え本格靴ブラシです。グリップを六角形にすることで、手のひら全体で軽くホールドでき、ブラッシングがしやすくなりました。用途に最適な天然毛と部位を使用した、手植え靴ブラシは、密度と耐久性に優れ、磨く人の作業を軽減します。「埃払い&磨き・埃払い・磨き・仕上げ」の4種類のラインナップ。

- A. ROKKAKU埃払い&磨き用、靴クリームセット/赤
(ブラシ:W70×D61×H85mm/ヒノキ、馬毛、靴クリーム:40ml)
22,660円
- B. ROKKAKU埃払い用/橙
(ブラシ:W70×D66×H85mm/ヒノキ、花馬毛のたてがみ)
20,900円
- C. ROKKAKU磨き用、靴クリームセット/黄緑
(ブラシ:W70×D61×H85mm/ヒノキ、白豚毛、靴クリーム:40ml)
22,660円
- D. ROKKAKU仕上げ用/青
(ブラシ:W70×D56×H85mm/ヒノキ、山羊毛)20,900円

株式会社 宇野刷毛ブラシ製作所

1917年(大正6年)より刷毛づくりで培われた技術をもとに、刷毛・ブラシの製造販売を行っています。東京手植えブラシは海外でも好評で、従来の刷毛・ブラシはもとより、時代のニーズに合わせたデザイン性や遊び心を取り入れたブラシなど革新的な商品を生み出し続けています。



椅子張

NOIR Lobby Stool ノワールロビースツール



馬具づくりの技が息づく
張りの手仕事美 玄関に品格を

東京椅子張りの原点は「馬具づくり」。革を扱う職人たちの技術が、時代の流れとともに椅子張りに受け継がれました。馬具の馬の座席部分を模した気品あふれるデザインには、角度の微調整など細かい部分に見えない職人技が光ります。玄関での靴の脱ぎ履きやケアの時間を、特別なひとときへと変えてくれることでしょう。あなたの暮らしの入り口を、上質な佇まいで彩る一脚です。

NOIR Lobby Stool
(W360×D170×H440mm/牛本革、木板、ウレタン)
132,000円

株式会社 I.S.U.house 上柳

アンティークチェア一筋。フランスから伝わった伝統製法を引き継ぎながら、日本独自の素材や技術を掛け合わせた東京椅子張りの製法にてオーダーメイド受注や修理を手がけています。





原点「透き」から生まれた、
凛と美しいロックグラス。

江戸切子 江戸切子 ロックグラス 「時巡り」

NEW

テーマは原点回帰。江戸切子の原点は透明なガラスなので、歴史の始まりである透明なクリスタルガラスを用い、江戸切子本来の美しさと実用性を追求したロックグラスを完成させました。原点である「透き」のガラスへ、日本の伝統的な吉祥文様・亀甲紋を刻んだ「マット」と「クリア」の2つのガラス。切子の特徴である写り込みや光との相性も抜群。日常的に使えるようサイズ感としては、少し大きめでありながら手馴染みが良い大きさにしました。使わない時は箱ごとインテリアとして飾ることもできます。

江戸切子 ロックグラス「時巡り」
(口径80×H98mm、
クリスタルガラス)
各55,000円



亀甲マット

亀甲クリア

株式会社
清水硝子

戦前の1923年創業。清水ガラスは100年以上の歴史がある江戸切子の工房です。6名の職人が一つ一つ心を込めて作る切子は、業界屈指の生産規模を誇り、幅広い人々のもとへ江戸の文化と歴史を届けています。



【技術のこだわり】

柄を同じ大きさと形で削る、というのはシンプルながら熟練の技が必要。しっかりと厚みのあるガラスに施された亀甲柄に職人技が光ります。「マット」は稜線の上に磨きをかけ、特別な印象と立体感を生み出しています。



職人
清水三千代



ビジネスパートナー
池田真智子

江戸硝子 枡グラス 翠角彩 sui-kaku-sai



翠で楽しむ粋なひと時
ガラスの枡に舞う桜

端材から生まれた新しい色〈翠(すい)色〉を纏い、吹いてつくる江戸硝子の技法で仕上げた、枡の形のグラスです。製作過程で必ず出てしまう硝子の端材。「色を被(き)せた硝子の端材は再生できない」と言われ続け、何度も挑戦、開発を重ね様々な色のガラスが混ざり合い誕生した〈翠色〉は、伝統的な和の情緒に加え、環境に配慮したものづくりの新たな一歩です。

- 枡グラス 翠角彩 sui-kaku-sai
(淡翠・濃翠/W75×D75×H50mm/
ソーダガラス)
各22,000円
- ミニ枡グラス 翠角彩 sui-kaku-sai
(淡翠・濃翠/W48×D48×H35mm/
ソーダガラス)
各13,750円



中金硝子総合 株式会社

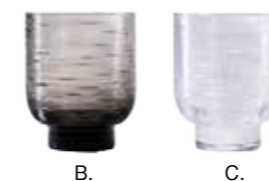
1946年(昭和21年)に創業された中金硝子製作所。創業以来2色のガラスを重ねて吹く「中金被せガラス」を主に製造し、江戸切子の普及に貢献しています。飾るのではなく日々飽きずに長く使って頂ける商品製作を心がけており、近年は新しい感性と伝統の技との融合商品の開発に力を注いでいます。



江戸切子 CHOCIN GLASS

提灯のよう
煌めきを纏う
な江戸切子

日本を代表する工芸品は、一見シンプルな佇まいの中に、歴史に育まれた膨大なノウハウと卓越した技術が凝縮されています。そんな奥ゆかしさの中にある技とこだわりを、日本の伝統的なモチーフである提灯に重ねました。繊細な横方向のカットのみを職人の技術と感性でひとつひとつ丁寧に施し、提灯に使用される和紙の質感を表現。これが江戸切子を再解釈した「江戸切子の新しい形」です。



CHOCIN GLASS
(口径82×H100mm)
A. (アンバー) 55,000円
B. (ブラック) 52,800円
C. (クリスタル) 50,600円

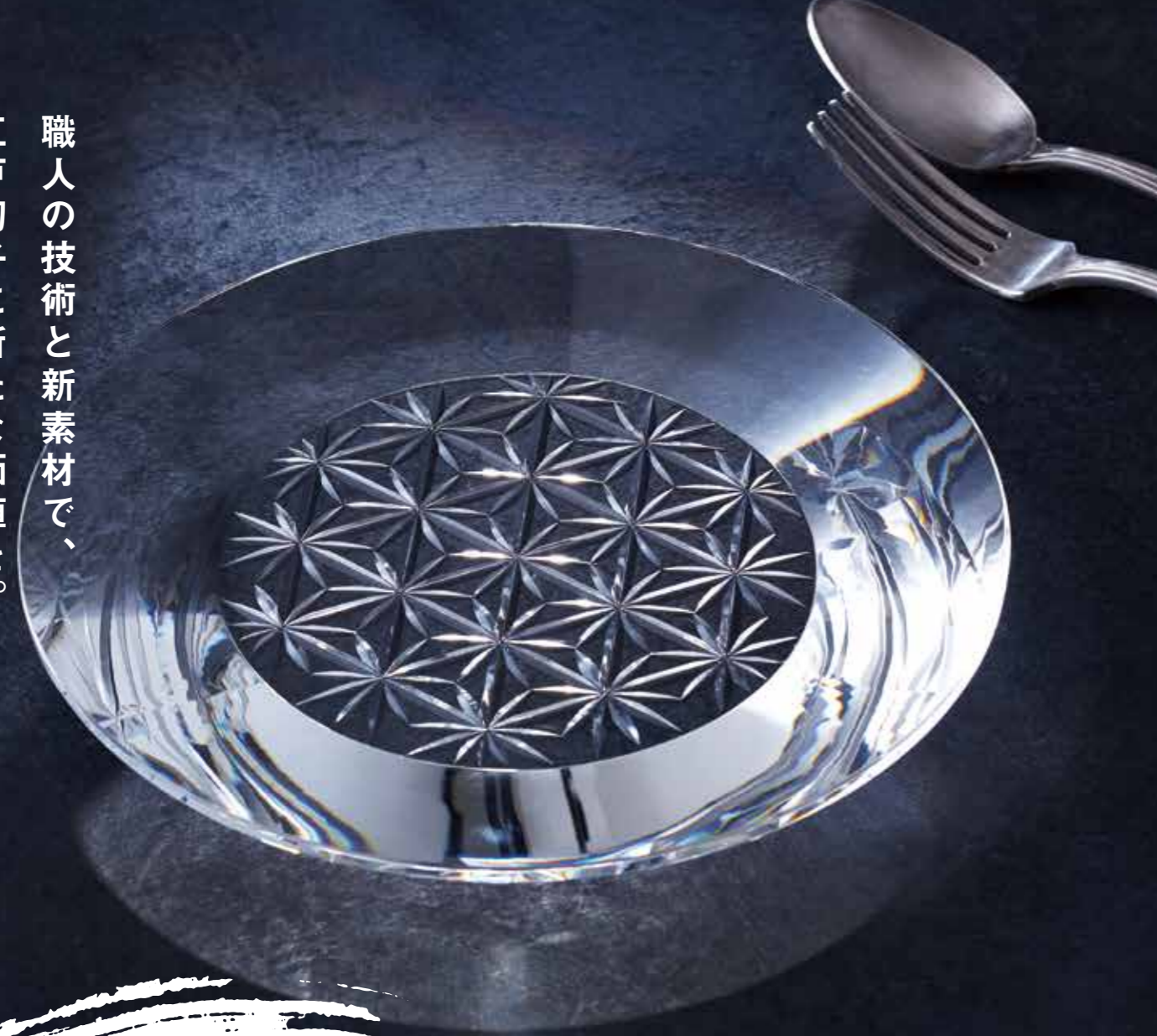
有限会社 鋼谷ガラス工芸社

古きを継承、新しきを創造。1949年(昭和24年)大田区に創業し、現在が3代目となる江戸切子の工房です。伝統を受け継ぎ、守り、時代に合わせて昇華させながら、人の心を動かすものづくりをしています。



A.

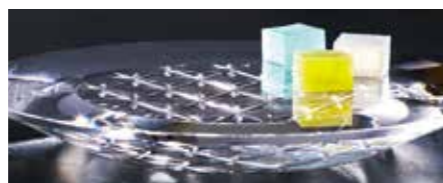
職人の技術と新素材で、江戸切子に新たな価値を。



江戸切子 たたえ

NEW

江戸切子では通常使われない透明度の高い光学ガラスに、江戸切子で文様を刻んだ平皿です。光学ガラス独特の透明感と輝き、職人による精緻な仕上げで特別な時間を彩る器が完成しました。フラットな面に施された大胆さ&繊細さを併せ持つカット、底面は伝統的な切子文様を施し立体的に表現、周囲の光や色を柔らかく映します。鮮明な光の視覚効果が皿全体を「光のステージ」とし、料理や菓子など食材本来の美しさを存分に引き立ててくれます。



●Mサイズ*
(径200×20mm、
光学ガラス)
88,000円

●Sサイズ*
(径120×20mm、
光学ガラス)
79,200円

廣田硝子
株式会社

1899年創業。廣田硝子は東京都指定の2つの硝子伝統工芸のうち、江戸切子、江戸硝子、両方の製作に携わっています。硝子ならではの美しさと機能を持つ商品にこだわり、手仕事による伝統的製造を継承し続けています。



【技術のこだわり】

クリスタルガラスが主流の中、光学ガラスへの手作業でのカットや磨きは、透明度が高いが故にわずかなブレも目立ちます。特筆すべきは硬さ故のその加工難易度の高さでした。シンプルな美しい文様は職人の技術力の結晶です。



職人 廣田達朗



× ビジネスパートナー EET studio 友岡洋平

江戸切子

とぎだし-TOGIDASHI- 江戸紫



とぎだしグラス
ハレの日のための

江戸切子の技法のひとつ平切子。平切子職人による平面研磨がガラス内の反射を生み出し、現代的な模様を創出します。今回の「とぎだし」は、通常江戸切子で使われる色被せガラスではなく、リサイクルカレットを外側に付着させた素材に、平切子の平面研磨で、光の反射と屈折で華やかな世界を創り出しました。第一弾の色は江戸っ子が好んだ粋な色・江戸紫、ハレの日の特別な酒器としていかがでしょうか。

とぎだし-TOGIDASHI-江戸紫
(口径73×H80mm/
ソーダガラス、
リサイクルカレット)
82,500円



椎名切子 (GLASS-LAB)

1950年(昭和25年)、祖父である椎名三男が創業した「椎名硝子加工所」の流れを汲んだ「ガラス専門店」です。思いを込めたガラス製品を、贈り手の方と「共に創り」贈られる方の「心を揺さぶる」ことが椎名切子(GLASS-LAB)の使命です。



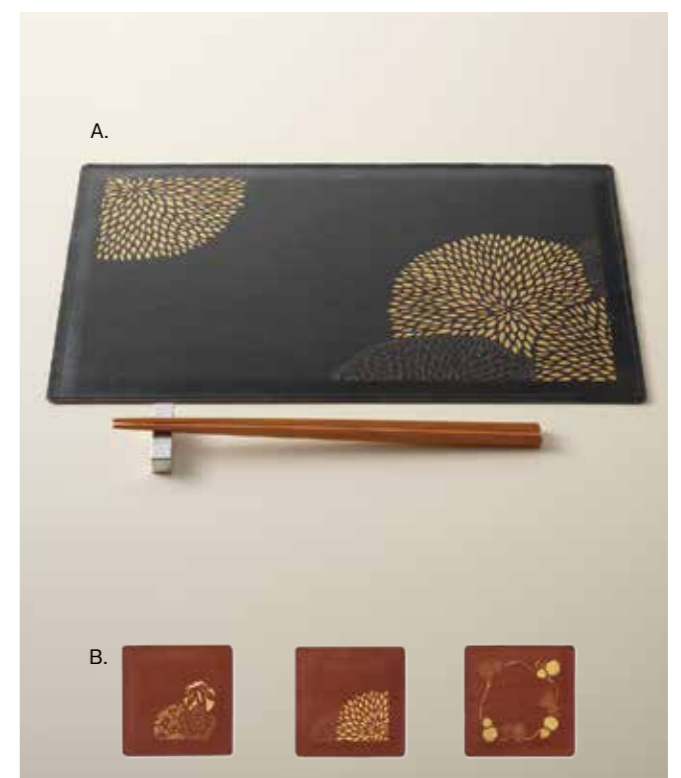
染色用型紙

染め型紙の敷飾り KiEN

伊勢型紙の敷物
縁起と喜びを願う

伝統的な素材(染色用型紙)そのものに着目した今までにない商品です。日本の縁起と喜びを願うモチーフを、彫刻技法の引き彫り、錐彫りを用いて紙に文様を施します。彫りながら柄を整えていけるのは職人の手彫りならではの技です。素材は和紙を柿渋で貼り合せてつくられた渋紙。型紙として繰り返し使用されるほど丈夫な型地紙、華やかな色合いが特徴の色渋紙を使用しています。

- A. 染め型紙の敷飾り KiEN サイズ大
「菊」
(型地紙・色渋紙 / W310×D210×厚み約2mm /
和紙(型地紙、色渋紙とも)、樹脂コーティング) 型地紙・色渋紙
いずれも各14,300円
- B. 染め型紙の敷飾り KiEN サイズ小
「松竹梅」「菊」「六瓢」
(型地紙 / W100×D100×厚み約2mm /
和紙(型地紙)、樹脂コーティング)
各4,950円



松井形紙店

江戸の技を今に伝える、松井形紙店。四代目として伝統的な伊勢型紙を受け継ぐ松井喜深子は、伝統工芸の次代を担うべく、伊勢型紙の伝統と革新を両立させる努力を惜まず、地域の伝統工芸の発展にも貢献しています。女性として初めて葛飾区の伝統工芸士に認定。



江戸打刃物・刀匠がつくる、
総火造りのステーキナイフ。

NEW 江戸打刃物
江戸打ステーキナイフ
八澄(はすみ)

刀匠が江戸時代から受け継がれる伝統製法「総火造り」で仕上げた、江戸打刃物初めての「ステーキナイフ」です。柄には希少な天然木を使用しており、手に取った際の軽さに驚きます。伝統製法で作られているため切れ味は抜群。刃先の入りが良く、パンケーキや柔らかな焼き菓子、フルーツなどもスッと引くだけ美しくカットできます。刀を飾るように、縦に寝かせて置けるナイフ置きをセットにしました。

江戸打ステーキナイフ 八澄
(全長223mm、40g/
ステンレス、木)
各27,940円



ナイフ置き付

**八重樫打
刃物製作所**

創業は江戸時代後期。二代目宗秋が1912年に東京で開業し、日本刀のほか包丁、鑿(のみ)、鉋(かんな)など職人用の伝統刃物の製作を開始しました。受け継いだ鍛造技術を堅持し、先手・横座の手打ちにより刃物を鍛えています。



【技術のこだわり】

一品ずつ手作業により、焼き入れと鍛錬を繰り返すことで硬さを出し刃に鋭さを宿していきます。刃先の角度をやや鈍角にすることで、切れ味を調整し安全性を確保しています。



八重樫潤一



EETY studio
遠藤絵美

NEW 東京銀器
タクミノリズム

伝統的な打痕を日本の情緒あふれる風景と織り交ぜ、シンプルながら匠の技が詰まった銀のスプーンが完成しました。日本の感性をまるごと持ち帰っていただけるよう、それぞれの打痕を「海」「雨」「風」に見立てて表現したデザインは斬新。職人が銀を打つ、洗練されたリズムが生み出した凹凸に触れれば、その場の会話も弾むことでしょう。どんなシーンにもフィットする品のため、ティータイムや食事のお供、贈り物にも最適です。



タクミノリズム
(全長134mm、約20g/
シルバー925)
各54,560円

株式会社 森銀器製作所

1927年創業。森銀器製作所は、金・銀器製造を専門とする老舗メーカーです。職人から職人へ受け継がれた技法を駆使しながら、現在も製造工程のほとんどを手作業で行い、時代に合わせた様々な製品づくりに取り組んでいます。

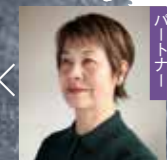


【技術のこだわり】

長年培われた経験により、一寸の狂いもないリズム感により、宅び寂びを感じさせる柄が生まれています。また、打てば反る板状の銀加工は難しく、シンプルさと裏腹に鎔目をつける工程ではより高度な職人技が必要でした。



荻澤竜興



Design*Magica
ナカジマミカ

銀のスプーンに宿るは、
受け継がれた匠のリズム。



手に宿る伝統美、
 籐工芸の技術による筆記具。

NEW 東京籐工芸
籐筆 (とうひつ)

大規模な什器や家具が中心だった籐工芸の技術を、文房具というパーソナルな道具へと凝縮した筆記具「籐筆」。目積編みと螺旋編みの2種類の意匠に加え、深みのある風合いの茶染め皮籐のバリエーションを展開。太めの胴軸に刻まれた凹凸が独自のグリップ感を生み出し、使い込むほどに色艶が深まる経年変化は、バッグの革のように「味」となり愛着とともに育っていく一本となるでしょう。

籐筆
 (W140×H15mm、20g/籐、真鍮)
 各31,900円



木内籐材工業
 株式会社

木内籐材工業は、文京区を拠点に東京籐工芸の技を守り続ける工房です。籐敷物・籐家具・籐うちわなど幅広い籐製品を手がけながら、伝統技法を現代の日用品へと展開できるよう、籐工芸の新たな魅力を発信し続けています。



【技術のこだわり】
 細いペン軸に対して均一な張力を保ちながら籐を緻密に巻き上げる工程は、熟練職人の手仕事でしか成し得ない精度を誇ります。また、既製の軸に外装を巻き付ける構造では、段差の処理にも高い技術を駆使しています。



木内秀樹



TAISEI MISHIMA DESIGN
 三島大世

NEW 東京彫金
東京縁起刀

江戸の装身具に宿る精緻な技と美意識が詰まった小さな銀の刀。日本刀の製法技術を用いて仕上げた刃の部分と、刀の柄に施される装飾(目貫)をモチーフにした持ち手から構成されています。繊細な彫刻は躍動し、背景の彫金と1つの物語に。飾ればまるで小さな日本刀の佇まい。手に取り封を開ける一瞬に、期待と高揚感をいっそう引き立てます。静かな品格と、美しさを備えた、ラグジュアリーなペーパーナイフです。

東京縁起刀
 (W130×D35×H15mm、43g/シルバー925)各132,000円



ジュエリーサショウ

1912年創業。ジュエリーサショウは、深川辰巳芸者が身に付けた装飾品(帯留め、簪)づくりから始まったジュエリー工房で全国から依頼が寄せられています。形見や思い出の品のリメイク依頼も多く、さまざまな形で命を吹き込む独自のモノづくりに取り組んでいます。



【技術のこだわり】
 柔らかく傷つきやすい銀素材での日本刀再現は高度な技術を要しました。実用性にこだわったなめらかさと握りやすさ、そして彫刻の繊細さや目貫造形の美しさは、熟練の職人技によって生み出されています。



佐生真一・佐生恵実



YUSUKE TAGUCHI DESIGN
 田口裕介



江戸の刀で切り開く、
 未来の便り。

鮮やかなペンダントに、江戸刺繍の伝統美を、

江戸刺繍 ひと糸

帯や着物に宿る江戸刺繍の技によって、再創出したペンダントネックレス「ひと糸」。吉祥を象徴する十二角形のオリジナル金属台座に、鳳凰や連続文様など格調ある伝統文様を、現代の装いへ再構築したオリジナル図案を採用。表裏で対照的な色と文様を配し、江戸の美意識「裏勝り」を体現した贅沢な仕上がります。お客様は国内外を問わず幅広い体格にも対応、ハレの日や特別なシーンにおいて、伝統をまとう気品を胸元へ添えます。

ひと糸
(ネックレストップ:
41×51×85mm、
チェーン:
550mm+アジャスター+50mm、24g
刺繍パーツ:
絹糸、正絹、本金糸、
銀糸、銅、真鍮、
台座:シルバー-925(K14GP)、
チェーン:真鍮(K14GP))
各88,000円



裏面
「立涌」(タテウツ)
「稜華」(リョウカ)
「鳳凰」(ホウオウ)
「花雪輪」(ハナユキワ)
「唐花」(カラハナ)

Team Embroidery Tokyo

Team Embroidery Tokyoは、江戸刺繍の伝統技術を現代に受け継ぐ刺繍工房です。熟練の職人を中心に、帯・着物・アクセサリーにわたる幅広い制作を手がけ、江戸刺繍ならではの繊細な美しさと手仕事の価値を次世代へ伝え続けています。



【技術のこだわり】

帯・着物向け江戸刺繍の技法を、装身具という極小スケールへ凝縮。極細の絹糸・本金糸・銀糸を用い、刺し方・糸の張り・重ね方を精緻に調整しました。独自の縫い技法やグラデーション糸の活用により奥深い表情を再現しました。



職人 石田千佳子・長嶋悦子・小池佐和
ビジネスパートナー TONALI DESIGN 春名麻衣子

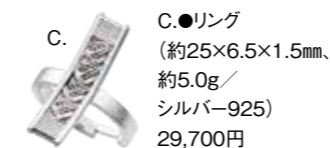
NEW 彫金 手編みジュエリー-TANZAKU

手編みジュエリー-TANZAKUは七夕の短冊をモチーフに開発。各アイテムの短冊状パーツの中には、願い事を射止める矢のイメージから発想した矢羽編みが施されています。線引き、手編み、ロウ付け、蝶番などの伝統的な技法と最新の鑄造技術との融合で創りあげたジュエリーの数々。プレスレットは印象的なフォルムと着脱のしやすさにこだわった留め具がポイント。また、単独パーツでデザインされたリング、ピアス、ペンダントもご用意しました。

手編みジュエリー-TANZAKU



A. (約174×13mm、約17g/シルバー-925) 148,500円
B. (約185×11mm、約15.3g/シルバー-925) 126,500円



C. ●リング
(約25×6.5×1.5mm、
約5.0g/
シルバー-925)
29,700円



D. ●ペンダント
(約26×6.5mm、約4.9g(チェーン含む)、
シルバー-925) 29,700円

E. (約26×11mm、約3.4g(チェーン含む)、
シルバー-925) 24,200円

F. ●ピアス
(約26×6.5mm、約4.5g、シルバー-925)
36,300円



【技術のこだわり】

プレスレットは、蝶番の構造が優れたフィット感と獨創性をもたらしています。Aは、継ぎ目が無いような美しい一体感で、片手でも着脱しやすい仕様です。Bは、矢羽編みの模様が際立ち、大きめの引き輪によって長さ調整もスムーズに。



職人 檜垣隆博



ビジネスパートナー 株式会社ソウ 大段聡美

檜垣彫金工芸

檜垣彫金工芸は、創業100年余りの歴史を有する鑄(かざり)職人の工房です。すげ細工から着想を得て、現在の代名詞ともいえる「手編みジュエリー」が確立されました。美しく繊細な技術で多くの人を魅了し続けています。



「短冊に託す願いが
叶うように」
そんな想いも
身につけるジュエリー！



四季の美を染めた、
季節をまとうスカーフ

引き染め

NEW

染景 シルクスカーフ

和歌になぞらえ、歌人が言葉に宿した情景を引き染めの特徴である「刷毛」の線と「グラデーション」のみで表現しました。透けてしまうほどに薄いシルク生地のスカーフは、小さく折りたたむため持ち運びやすく、身につければ首〜フェイス周りを心地よく華やかに演出してくれます。四季の光の表現、情景が昇華された繊細なデザインは、額に入れて飾りたくなるほど美しく「身にまとうアート」といえるでしょう。

染景 シルクスカーフ
(660×660mm、
絹100%)
各24,200円



1952年創業。ふじや染工房は、素材の状態や気温、湿度など日々異なる条件の中で工程を調整しながら、品質を高めるための工夫を重ねています。時代の変化に適応しながら、手染め文化の継承に力を注いでいます。



ふじや染工房



【技術のこだわり】

極薄な生地への染めは、生地店が止めるほど至難の業。染め道具から見直し、大きさ等が違う生地へ引き染めの魅力が落とし込めるよう、試作を重ね繊細な表現と美しさを追求しました。仕上がりは技術の結晶です。



中村隆敏



Kawabuchi design office
川淵好美

江戸刺繍 小間紋 komamon



全く新しい「ジュエリー」をお手元に
江戸刺繍と天然木で形作った指輪

絹糸と木の自然美が調和した、江戸刺繍の指輪が誕生しました。わずか2cmの小さな円の中に、得意とする着物の縫い紋技術を凝縮。糸作りから自社で行い、上品な光沢を持つ絹糸と本金糸を職人が手刺繍した部分は着脱式です。刺繍パーツを交換すれば、江戸刺繍の繊細で多彩なデザインが気分に合わせて楽しめます。肌に触れる箇所には天然木を使用しているため、金属アレルギーの方でも安心です。

- 小間紋 komamon指輪 単品
Mサイズ:径18mm Lサイズ:径20mm
(27×24×24mm / 絹、木、アルミ、磁石) 24,200円
- 小間紋 komamon指輪 付け替えパーツセットA・B
Mサイズ:径18mm Lサイズ:径20mm
(27×24×24mm / 絹、木、アルミ、磁石) 各46,200円

高橋刺繍店

創業1968年(昭和43年)。先代から着物や帯の刺繍を中心に、細密な「縫い紋」等を専門にしています。現在は姉妹で家業を継ぎ、伝統の江戸刺繍を守りながら、新しいことにチャレンジしています。



江戸鼈甲 neobekko

江戸時代より貴重で高価な装飾品とされてきたべっ甲は、長寿の象徴とされるなど縁起の良い品としても親しまれてきました。職人の技術の進化と共に、新たな試みとして「蛍光・蓄光」の素材を用いた、べっ甲+アクリルのすり合わせが実現。ネオクラシックな世界観を創出したアクセサリーで、滑らかな肌触りと艶、美しい透け感と軽い着け心地をお楽しみ下さい。



neobekko

- ピアス(正方形、円形、長方形※イヤリング対応可 / 正方形:20×20mm、円形:径18mm、長方形:5×23mm / ベっ甲、アクリル、チタン) 各16,500円
- ブレスレット(正方形、円形、長方形、長さ190mm(調整可能) / ベっ甲、アクリル) 各30,800円
- ネックレス(正方形、円形、長方形、長さ470mm / ベっ甲、アクリル、牛革、真鍮+メッキ) 各33,000円
- ピアス(亀甲、※イヤリング対応可 / 20×17mm / ベっ甲、アクリル、チタン) 19,800円
- ブレスレット(亀甲、長さ190mm(調整可能) / ベっ甲、アクリル) 33,000円
- ネックレス(亀甲、長さ470mm / ベっ甲、アクリル、牛革、真鍮+メッキ) 35,200円



べっ甲イソガイ

師匠と息子の3兄弟で製作した品物を浅草・亀戸の直営店舗で販売しています。モダン&スタイリッシュなべっ甲イソガイの作品は、伝統的なかんざしからチェーンネックレス、名刺入れまで多彩な品揃えて、べっ甲の新たな魅力を発信しています。





三面を鮮やかに彩る、
新しい「粹」のカタチ。

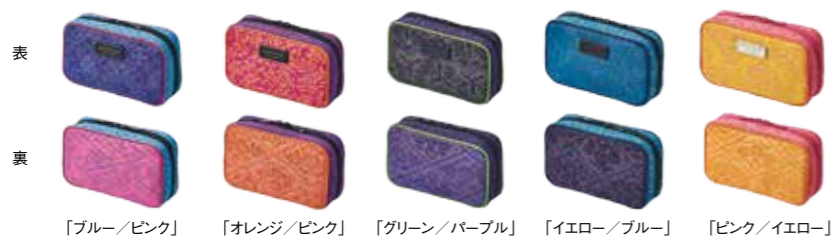
染小紋

NEW

SARAKICHI KOMON POUCH

染小紋で粹とされてきた色彩とは一線を画し、巧みな技術と既存の染料の組合せを精緻に調整し、濃く&明るい発色によって新しい「粹」のカタチが誕生しました。従来の染小紋にはない、三面の柄が全て異なる美しさを追求したポーチシリーズ。性別を問わず和装・洋装いづれにも合わせやすい仕様で、靴に入れるだけで気持ちが高まる、多彩な小紋柄&明るいバリエーションのポーチです。大切に持ち歩きたいものを取りたいです。

SARAKICHI KOMON POUCH(145×85×マチ40mm、絹、ナイロン)各13,200円



株式会社
富田染工芸

1914年創業。神田川の清流を求めて新宿に根を下ろし、染小紋・更紗等で140年以上の歴史を持つ染め工房です。現在は和装だけでなく多彩な素材をテーマに、江戸時代から続く洒落心を今に伝え、現代の暮らしに添う染めへと進化を続けています。



【技術のこだわり】

渋い色味が多い染小紋での明るい発色は、より高度な技術を要します。染粉の配分から見直し、文様の輪郭が埋もれないように繊細な工夫を実施。糊の塗り重ねと染色を繰り返すことにより鮮やかさを表現しました。



野島仁美・富田篤



合同会社MYKデザイン事務所
石坂美由紀

江戸表具

屏風バッグ 折彩 -ORIIRO-



江戸表具師が作る
リバーシブルの屏風バッグ

屏風を製作する伝統技術で製作された、今までにない和紙と木のミニバッグです。和装・洋装どちらにも合い、ファッションのアクセントとして、パーティーなどのハレの日はもちろん、日常使いにも。木製部分は和紙で繋ぎ合わせる屏風の折りたたみ部分の技術が使われており、リバーシブルでお使いいただける上に、強度もばっちり。バッグ表面には通常、襖などに使われる厚手の和紙、内袋には繊維の入った強い和紙を使用しています。

屏風バッグ 折彩 -ORIIRO-
(金/赤、約W250×D70×H183mm/ウォールナット、和紙、牛革)
52,800円

株式会社 神山表具

創業80年、経師屋として創業。昭和40年ごろからは襖の家や屏風を飾る家が減ってきたことから和紙を使用した壁紙のはりつけも行うようになった。屏風や襖、壁紙の修理を伝統技法で手がける、大変貴重な工房の一つです。



東京籐工芸

Ajiro Rattan Shoulder Bag

軽やかな日常を
籐のバッグを携えて

光沢のある皮籐と、マットな背取皮籐を同色で組み合わせ、編み模様が美しく浮かび上がるデザインに仕立てました。独自の編み方である「半艶網代編(はんつやあじろあみ)」で製作したバッグの可愛らしく丸みのあるシルエット製作は容易ではなく、編み方を工夫し部位ごとに材料を使い分けるなど、巧みな職人技が隠れています。修理も可能なため、末永くご愛用いただけます。

Ajiro Rattan S
houlder Bag
(黒・ナチュラル・茶、
155×190×厚み75mm/
本体:籐、
巾着:綿麻、
ストラップ:牛革、真鍮)
各56,760円



有限会社 加瀬ラタン工芸

1955年(昭和30年)創業。籐の特性を活かした手仕事の製品で、一つ一つの風合いが微妙に異なるのも特徴です。温もりあふれる肌触りと自然な感触は、100%自然素材だからこそ。強度とデザインの調和を追求した職人技で製品を作り上げます。





願いを込め、技術を込め
想いをひらく洋傘。

東京洋傘
Monpluie Amulette (モンプリュイ アミュレット)

つながり・成長・招福・勝運——日本古来の文様に込められた願いを表現、縁をつなぐ傘、意味で選ばれる傘として再構築した東京洋傘「Monpluie Amulette」。型染の糊置き・染め抜きの技法が生み出す線の強弱と余白の表情は、プリントでは出せない文様の奥深さを表しています。使用時は長傘の端正な佇まいを保ちながら、移動や収納の際には短くコンパクトに。天然素材ならではの風を通す涼しさ、使うほどに深まる経年変化も大きな魅力です。

●長傘
(親骨55cm/
400g/
綿100%)
各49,500円



「招き猫」

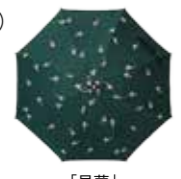


「福千鳥」



柄の長さを
2段階に調節可能

●折傘(2way)
(親骨50cm/
400g/
綿100%)
各49,500円



「早蕨」



「輪違い」



柄の長さを
3段階に調節可能

長傘・折傘兼用
傘袋付



【技術のこだわり】
型染の型紙・糊置き・染め抜きにより、文様の意味と装いを表現。仕立てには希少な関東縫い(頭から縫う)を採用し、裁断精度・生地を送り・縫い線の安定など、手仕事と機構設計を両立させた高度な製造技術が傘1本に宿っています。



山口君枝



株式会社更註
大野耕作

株式会社
モンブラン

モンブランは、墨田区を拠点に東京洋傘の製造卸を手がける工房です。型染と傘仕立ての技術を守り続けながら、日本の伝統文様に込められた意味を現代の暮らしへ届ける、工芸実用品の開発に挑み続けています。



印伝
印伝 × アルゴリズム



印伝とは、型を用いて鹿革に文様を漆付けする伝統技法です。アルゴリズムを活用し、点と点を結んで三角形を形成する数学図形である「ドロネー図」をデザインに落とし込みました。印伝の文様には様々ないわれがあり、この点ひとつひとつを人に見立て、助け合うことでひとりでは困難な大きな物事を成し遂げていく、という思いを込め、印伝の新たな文様としても後世に残していけるよう表現しています。

←印伝×アルゴリズム ショルダーバッグ
(約210×170×厚み50mm/鹿革(漆加工)牛革レーヨン)
22,000円

→印伝×アルゴリズム
カードケース
(約65×105×厚み10mm/
鹿革(漆加工)牛革)
11,000円



有限会社 印傳矢部

1924年(大正13年)創業。インド伝来の鹿革製品が受け継がれ下町で愛されてきました。選び抜かれた鹿革の手触り、独特の文様、漆の光沢、これらの個性が調和し素晴らしい商品が次々に誕生。日本古来のものだけでなく洋風なもの商品作りも手がけています。



東京洋傘
虹霞 - 朝霞・夕霞 -

美しい織りの色変化する
虹のよう

メンズ傘「RAMUDA」を手がける市原の新しい試み。朝から夜の空の色の移り変わりを表現するために特殊な織り方で製作したオリジナル生地は、光の加減で多様に色が変化する、まさに虹色の傘。「生地に合わせて傘を作る」素材に寄り添う製法を一貫して守り続けるその姿勢は、使う人の日常まで考えたデザインや、折り畳まなくても傘を仕舞うことのできる傘袋にも表れています。

虹霞 - 朝霞・夕霞 - 洋傘
(朝霞、夕霞 / 各ピストライプ・ボールドストライプ/
直径(開傘時)104cm、全長(畳状態)41cm、
全長(伸びた状態)親骨58cm/
生地:ポリエステル100%
(防水撥水UV加工付き)、
親骨: グラスファイバー、中棒:
アルミニウム、手元:天然木)
各27,500円



夕霞

株式会社 市原

創業約80年、日本の職人が作る世界最高品質を継承したいという想いから傘づくり、革小物づくりを手がける老舗メーカーです。ヨーロッパの傘の技術に、日本の職人の知恵が融合し、東京洋傘としてその技術や想いを引き継いでいます。



朝霞

遊び心のある粋な和装に。
さっと羽織るだけで、



東京本染ゆかた・てぬぐい
東京本染 Gilet

伝統の柄と技術を、現代へ橋渡しする新アイテムとして生まれた「東京本染 Gilet」。浴衣の雰囲気をもたしながら、Tシャツやブラウスの上にとっと羽織るだけでピタッと決まる新感覚の和装です。菊、UFO富士、火花など遊び心が楽しい3種類のデザイン。羽織留めなしのシンプルな仕様で、ピンや羽織紐など各自のアレンジも楽しめます。和の伝統美を日常へ軽やかに取り込める一枚として、国内外を問わず幅広い層へ届けます。

東京本染 Gilet
(フリーサイズ/
綿85%麻15%)
各24,200円



東京和晒
株式会社

東京和晒は、葛飾区を拠点に東京本染ゆかた・てぬぐいの注染技術を守り続ける工房です。注染産業の新たな市場を切り拓くべく「東京本染 HAORI」に続き「東京本染 Gilet」を発表、伝統技法を現代の装いへと展開し続けています。



【技術のこだわり】

注染の色落ちの課題がクリアできるよう、時間をかけ繊維と染料を強固に結合させることで高い堅牢度を実現しました。この工程を厳守する染工場は国内でもごく少数。また、両面が同じ様に染まる注染の特徴により、単衣の裏地まで美しい仕上がります。



職人 瀧澤 一郎



有限会社 ニル 内田 智速

江戸更紗
モノトーン更紗チュニックシャツ



和の職人の感性と技術力を活かし、現代のライフスタイルにとけ込むような独特のファッションを生み出しました。色や柄を江戸更紗本来の多色染色ではなく、色のトーンを抑えモノトーンに染め上げることで、モダンでスタイリッシュな世界観を創出。着丈の長いチュニック丈にすることでワンピース感覚の一枚着となり、スタイリングがしやすく快適な着心地を実現しました。

着る方の個性を引き出し
江戸の粋も感じるチュニックシャツ

モノトーン更紗チュニックシャツ
(白・黒/M・L/
綿100%)
各28,600円



一般社団法人 染の里おちあい

1920年(大正9年)から100年余り、伝統的な多彩色が特徴の江戸更紗を染め続けてきました。江戸の職人たちが自らの発想で図柄やデザインを工夫し染色したように、江戸文化の継承にあたって、江戸職人たちの仕事ぶりや情熱、すべてを受け継いでいきます。



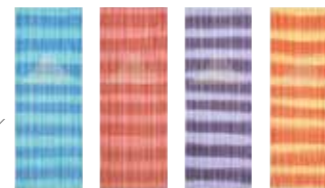
東京本染ゆかた・てぬぐい
東京本染め手拭い UKIYO ZOME

江戸時代の浮世絵師・歌川広重が描いた「江戸の空」を、熟練した職人の手作業で色を注ぎながらグラデーションをつくる注染の伝統技術「ぼかし染め」で表現しています。さらに、微細な箔の富士山をプリントで施し、上品な輝きを加えました。伝統の染色技法と現代の印刷技術が織りなす江戸の空の移ろいをお楽しみください。タペストリーとして、壁に飾っても、空間を柔らかく演出してくれます。

印刷技術が映し出す「江戸の空」

伝統の染色技法と現代の

東京本染め手拭い UKIYO ZOME
(青天、花曇、紫光、茜空、W360×D1000mm/
綿100%)
各2,970円



有限会社 村井 染工場

1936年(昭和11年)創業、現在3代目。亀戸から1939年(昭和14年)に現在の場所へ移転し、手ぬぐいを主流に染めを受け継いできました。さまざまな企業や団体とコラボレーションしながら、変わらず伝統技法を使った染めの手ぬぐいを作り続けています。



東京手仕事をかっと来る

東京手仕事に関する素朴な疑問にお答えしながら、その考え方や取り組みを深掘りしてご紹介します。

体験してかっと来る

心・技・文化を、体験することで深く知る。

東京都の各所に伝統工芸の工房等(拠点)が点在し、モノづくりの体験ができる工房もあります。職人の丁寧なレクチャーのもと、見て、ふれて、五感で伝統工芸がお楽しみいただけます。



詳しくはこちらから

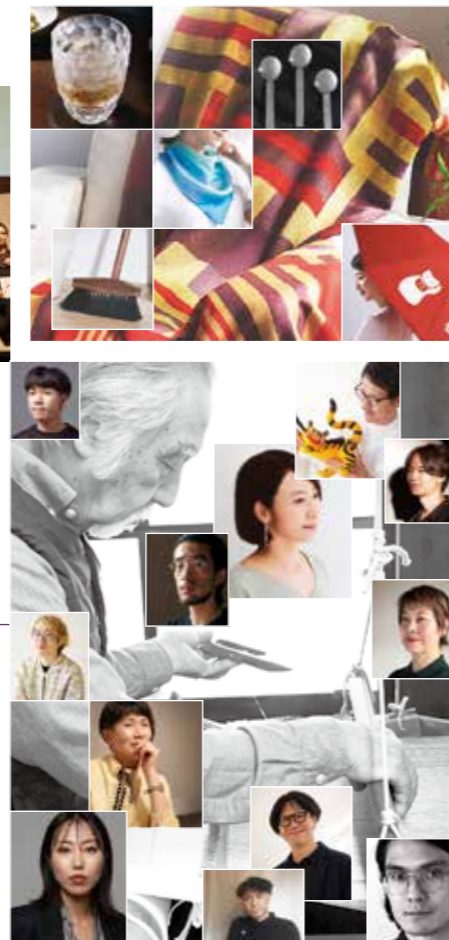
Q. 「東京手仕事」プロジェクトとは

A. 「東京手仕事」プロジェクトでは、商品開発と開発商品の普及促進を3年に渡って行っています。



Q. 商品開発はどのように進めているの?

A. 伝統工芸事業者である職人が、ビジネスパートナーとチームを組んで、商品開発を行います。計画の策定から始まり、試作品の製作や実店舗でのテストマーケティングを経て、商品を完成させていきます。最後の選定委員会で完成品と認定され、採択されると「東京手仕事」プロジェクトの商品として販売できます



Q. ビジネスパートナーの役割は?

A. ビジネスパートナーは、デザイナーを中心とした専門家、アイデアやデザインの提案をとおして、伝統工芸の技術を現代のライフスタイルに合った商品へと落とし込み、開発をサポートします。

Q. 商品の普及促進策は何があるの?

A. 開発商品について販路開拓を行うべく、商品開発後の2年間において、国内はもとより海外の展示会へ出展や小売店で販売催事を行います。それ以外にも、各社の要望により、ECや個店での販売も行います。



つまみかんざし制作体験



アイススプーン制作体験



ペーパーナイフ制作体験



ミニチュア盆栽(造花)製作体験

ここでしか得られない。五感で感じる東京の伝統。

古くより日常生活から生まれ、磨き上げられた職人の技。それはいつしか「伝統工芸」と呼ばれ、日本独自の文化として尊ばれるようになりました。日本の首都である大都市東京には、今もその灯を絶やさず受け継いでいる人々がいます。歴史と伝統が過去、現在、未来、そして世界を結びつける。直接触れることでしか味わえない手作りの体験が、ここに。



東京の伝統工芸体験
予約サイト



Instagram

掲載	事業者名	連絡先	住所
06	株式会社 柿沼人形	048-964-7877	〒343-0857 埼玉県越谷市新越谷1-21-11
07	株式会社真多呂	03-3833-9662	〒110-0005 東京都台東区上野5-15-13
08	有限会社 武笠表具店	048-822-4946	〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-7-6
09	有限会社 岡半	048-882-8294	〒336-0936 埼玉県さいたま市緑区太田窪3-2-8
09	株式会社 大越忠製作所	048-962-1166	〒343-0805 埼玉県越谷市神明町1-39-2
10	三絃司きくおか	03-3696-5501	〒124-0014 東京都葛飾区東四つ木1-7-2
11	株式会社 富士製額	03-3892-8682	〒116-0001 東京都荒川区町屋6-31-15
11	有限会社 岩田仏壇製作所	048-269-3500	〒333-0842 埼玉県川口市前川2-32-3
12	有限会社 湯島アート	0471-44-3136	〒277-0863 千葉県柏市豊四季945-579
13	株式会社 高橋工房	03-3814-2801	〒112-0005 東京都文京区水道2-4-19
13	株式会社 甲人	03-3611-2317	〒131-0033 東京都墨田区向島5-48-14
14	宗達アートクラフト株式会社	03-6231-7954	〒111-0042 東京都台東区寿1-6-6 山岸ビル1階
15	有限会社 澤井織物工場	042-691-1032	〒192-0002 東京都八王子市高月町1181
16	有限会社 宮川刷毛ブラシ製作所	03-3844-5025	〒111-0041 東京都台東区元浅草2-10-14
17	株式会社 宇野刷毛ブラシ製作所	03-3622-9078	〒131-0033 東京都墨田区向島3-1-5
17	株式会社 I.S.U.house上柳	03-3931-5040	〒179-0081 東京都練馬区北町6-31-20
18	株式会社 清水硝子	03-3690-1205	〒124-0006 東京都葛飾区堀切4-64-7
19	中金硝子総合株式会社	03-3684-4611	〒132-0035 東京都江戸川区平井2-11-29
19	有限会社 鍋谷ガラス工芸社	03-3744-1882	〒144-0035 東京都大田区南蒲田3-11-21
20	廣田硝子株式会社	03-3623-4145	〒130-0013 東京都墨田区錦糸2-6-5
21	椎名切子(GLASS-LAB)	03-6318-9407	〒135-0023 東京都江東区平野1-13-11
21	松井形紙店	03-3693-1755	〒124-0012 東京都葛飾区立石3-27-3
22	八重樫打刃物製作所	03-3697-5487	〒124-0012 東京都葛飾区立石3-4-7
23	株式会社 森銀器製作所	03-3833-8821	〒110-0015 東京都台東区東上野2-5-12
24	木内藤材工業株式会社	03-3941-4484	〒112-0011 東京都文京区千石4-40-24
25	ジュエリーサショウ	03-3632-5233	〒135-0005 東京都江東区高橋14-21
26	Team Embroidery Tokyo		〒355-0155 埼玉県比企郡吉見町北吉見3210
27	檜垣彫金工芸	03-5648-7056	〒125-0042 東京都葛飾区金町4-17-2
28	ふじや染工房	03-3368-8559	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-28-130
29	高橋刺繍店	03-3315-6496	〒166-0015 東京都杉並区成田東1-47-16
29	ベッ甲イソガイ	03-3682-4405	〒136-0071 東京都江東区亀戸3-32-4
30	株式会社 富田染工芸	03-3987-0701	〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-6-14
31	株式会社 神山表具	03-3731-1375	〒144-0056 東京都大田区西六郷2-6-13
31	有限会社 加瀬ラタン工芸	0479-22-5477	〒288-0002 千葉県銚子市明神町1-49-2
32	株式会社 モンブラン	03-6751-9748	〒130-0012 東京都墨田区太平2-19-1 佐藤マンション1階
33	有限会社 印傳矢部	03-3695-6460	〒124-0012 東京都葛飾区立石3-21-7
33	株式会社 市原	03-3669-2061	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-17-9
34	東京和晒株式会社	03-3693-3333	〒124-0012 東京都葛飾区立石4-14-9
35	一般社団法人 染の里おちあい	03-3368-8133	〒161-0034 東京都新宿区上落合2-3-6
35	有限会社 村井染工場	03-3651-3108	〒132-0024 東京都江戸川区一之江6-17-27

東京手仕事商品販売のご案内

常設店舗

THE COVER NIPPON

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3
東京ミッドタウン ガレリア3階
TEL 03-5413-0658



オンラインストア

小粋屋東京

「小粋屋東京～おしゃれな伝統工芸品～」は、東京都が運営する伝統工芸品を販売するオンラインショップです。



常設販売コーナー

歌舞伎座内1階 お土産処 木挽町

〒104-0061 東京都中央区銀座4-12-15
TEL 03-3545-6557

※「お土産処 木挽町」は一般開放時間もございますので、詳しくは歌舞伎座ホームページをご参照下さい。

ホテル東京ガーデンパレス 1階ロビー

〒113-0034 東京都文京区湯島1-7-5
TEL 03-3813-6211

東京ビッグサイト(東京国際展示場) サービスコーナー

〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1
TEL 03-5530-1215

※表示価格は、消費税を含む総額の希望小売価格となります。
※掲載商品の価格・内容は2026年4月末現在のものです。※価格表示のない小物はコーディネート用です。

 公益財団法人 東京都中小企業振興公社

城東支社「東京手仕事」プロジェクト事務局



ブランドサイト



Instagram



東京都が運営する
伝統工芸のオンラインショップ
小粋屋東京

